

5月のほけんだより

みなみひの保育園
2019年5月1日

5月が始まりました。多くの子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ園生活を楽しめるようになってきました。一方、大型連休を控えて生活が乱れがちになりますので規則正しい生活と十分な休息を心がけましょう。

感染症…保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、子どもたちが毎日快適に生活できるようご協力をお願いいたします。

病名	症状	登園のめやす
インフルエンザ	急な発熱、頭痛、筋肉痛、喉の痛み、体のだるさ、咳など	発症した後、5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで
麻疹	咳、くしゃみ、鼻水等風邪症状、高熱、発疹など	解熱後3日を経過してから
風疹	バラ紅色の発疹、リンパの腫れなど	発疹が消失してから
水痘(水ぼうそう)	発熱、紅斑、水疱、かさぶたなど	全ての水疱がかさぶたになるまで
流行性耳下腺炎(おたふくかせ)	発熱、頭痛、体のだるさ、耳の下の腫れなど	耳の下の腫れが出てから5日を経過し全身状態がよくなるまで
結核	咳、痰(血痰)、熱など	医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、喉の痛み、結膜炎など	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに、耳の前のリンパ節の腫れなど	結膜炎の症状が消失してから
百日咳	2週間以上続く咳、長く咳き込んだ後、ヒューと笛声を発する	特有の咳が消失するまで、また適当な抗生物質による治療が終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)	激しい腹痛と水様性の下痢、血便など	症状が始まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	強い結膜の充血、まぶたの腫れ、結膜下の出血など	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	高熱、出血斑、関節炎、頭痛、高熱、嘔吐など	医師により感染の恐れがないと認めるまで

以上が登園許可証が必要な感染症です。

発熱後の登園について

熱が出ると体力が奪われて、体は一時的に弱った状態に。熱が下がってもすぐに登園せず、1日は家庭で様子を見ながら、安静に過ごさせてあげたいですね。また、朝、薬を飲んで登園したときは、忘れずにお知らせください。薬の種類によっては、眠気を催すものもあるので、園でも注意してまいります。よろしくお願いたします。



爪はきれいかな？



子どもたちは様々な物に触れるため、爪(つめ)の中に汚れが入ったり、伸びていると欠けたりしてしまいます。汚れが溜まると炎症を起し、爪の病気になってしまうので、手洗いで落とさずきれいな汚れは、お風呂できれいに落としてあげましょう。

また、爪が長いとどこかにひっかけてしまったり、お友達を傷付けてしまうことにもなりかねません。おうちでは定期的に切ってくださいようお願いいたします。